

令和4(2022)年10月21日

報道機関各位

都市建設部 都市計画課

TEL:0284-20-2167

## (仮称)足利スマートインターチェンジの新規事業化について

### 1 趣旨

(仮称)足利スマートインターチェンジは、令和3(2021)年8月、準備段階調査着手箇所を選定され、その後、東日本高速道路株式会社、国や栃木県など関係機関と具体的な協議を行いながら、令和4(2022)年8月24日に開催した地区協議会において、実施計画書を策定してきました。

さらに、令和4(2022)年8月30日付けで、国土交通省、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構及び東日本高速道路株式会社宛て実施計画書を提出したところ、令和4(2022)年9月30日付けで、国土交通省から、(仮称)足利スマートインターチェンジの新規事業化の発表がありましたので、お知らせします。

### 2 (仮称)足利スマートインターチェンジの概要

(仮称)足利スマートインターチェンジは、北関東自動車道の太田桐生インターチェンジから3.8km、足利インターチェンジから6.5kmに位置する本線直結型のスマートインターチェンジです。栃木県内では、5箇所のスマートインターチェンジがすでに供用開始し、3箇所が整備中であり、本線直結型では3例目となります。

なお、現在、(仮称)足利スマートインターチェンジのアクセス道路となる都市計画道路7丁目大前線が未整備であることから、供用開始に合わせ、栃木県が約1.1kmの区間を優先的に整備し、併せて、本市が関連する市道の機能強化を図る予定です。

### 3 整備効果

#### (1) アクセス性向上による産業活性化、定住人口の増加

移動時間の短縮が図られ利便性が向上することで、地域産業の活性化や定

住人口の増加が期待されます。さらに、新たな交通経路が確保されることで、中心市街地部における交通の分散が期待されます。

(2) 広域的医療体制の充実

第三次救急医療機関である足利赤十字病院へのアクセスが向上することで、広域的な医療体制の充実が期待されます。

(3) 地域の安全・安心を確保

洪水時等における新たな輸送経路が確保され、復旧活動の展開が迅速化することで、社会活動の早期再開が期待されます。

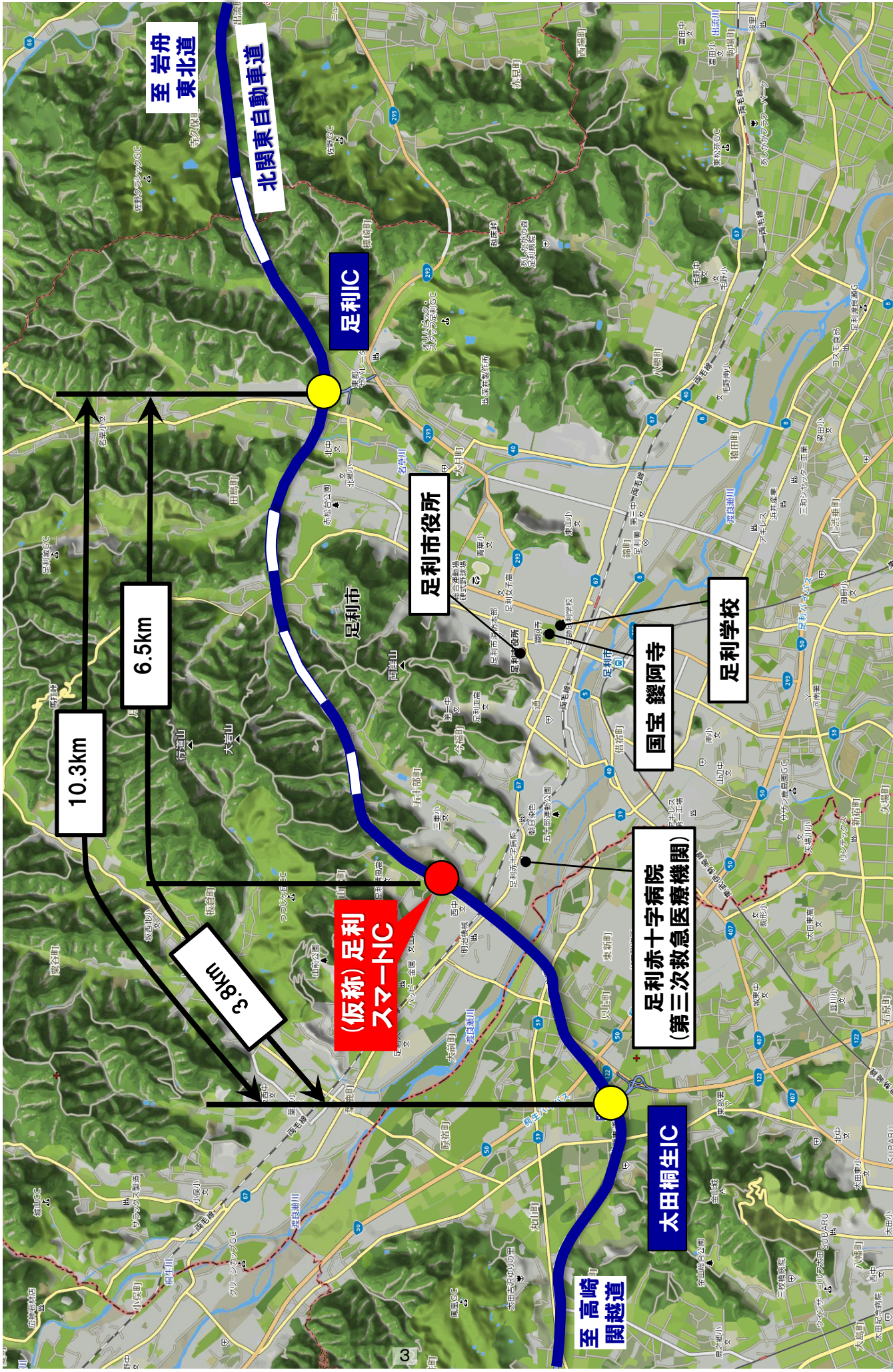
(4) 新たな高速道路アクセスルートの確保による観光促進

短時間でアクセスできる新たな交通経路が確保されるとともに、交通の分散が図られることで、観光イベント開催時におけるアクセスが向上し観光促進が期待されます。

4 今後のスケジュール

令和4(2022)年10月26日 連結許可書伝達式

令和4(2022)年11月 広報あしかがみに掲載



至岩舟  
東北道

北関東自動車道

足利IC

10.3km

6.5km

3.8km

(仮称)足利  
スマートIC

国宝 饒阿寺

足利赤十字病院  
(第三次救急医療機関)

太田桐生IC

至高崎  
関越道

足利市役所

足利学校

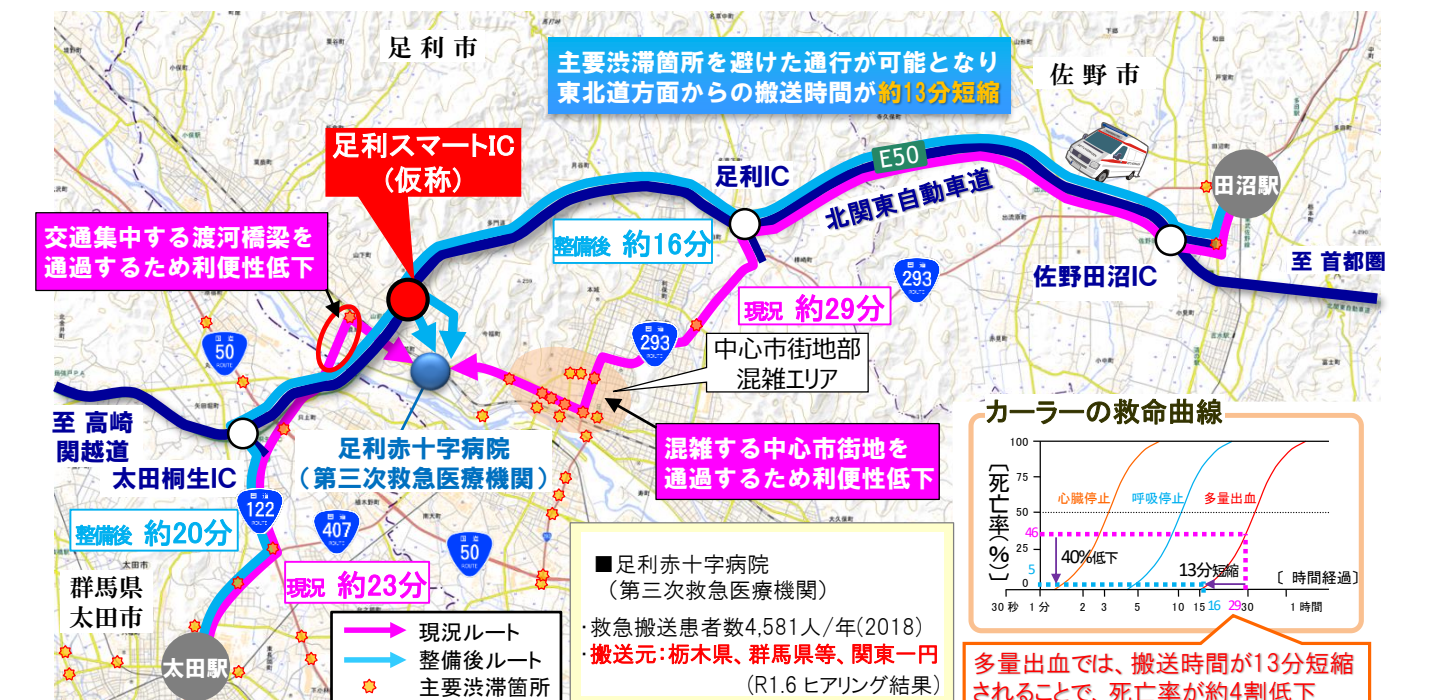
# 整備効果 アクセス向上による産業活性化、定住人口の増加

・移動時間の短縮が図られ利便性が向上することで、地域産業の活性化や定住人口の増加が期待されます。さらに、新たな交通経路が確保されることで、中心市街地における交通の分散が期待されます。



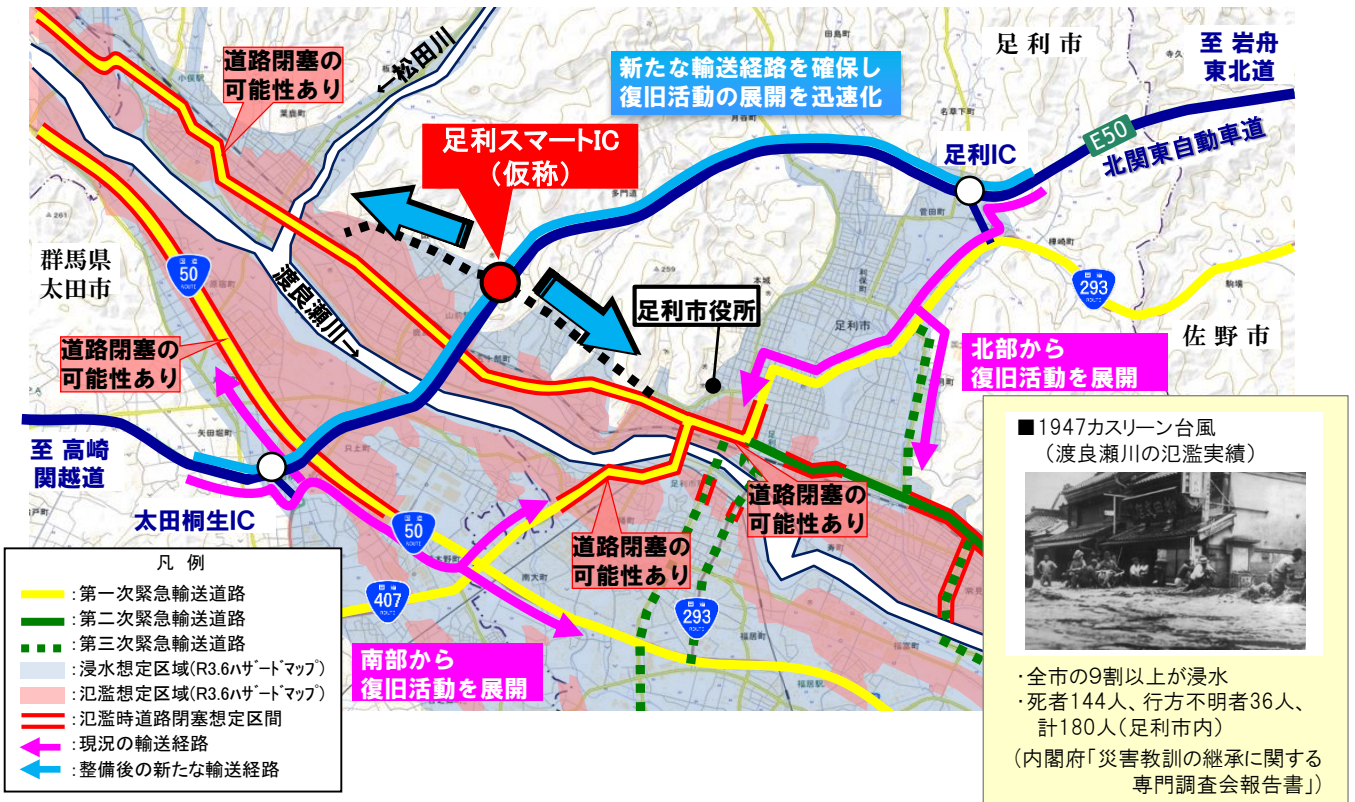
# 整備効果 広域的医療体制の充実

・第三次救急医療機関である足利赤十字病院へのアクセスが向上することで、広域的な医療体制の充実が期待されます。



# 整備効果 地域の安全・安心を確保

・洪水時等における新たな輸送経路が確保され、復旧活動の展開が迅速化することで、社会活動の早期再開が期待されます。



# 整備効果 新たな高速道路アクセスの確保による観光促進

・短時間でアクセスできる新たな交通経路が確保されるとともに、交通の分散が図られることで、観光イベント開催時におけるアクセスが向上し観光促進が期待されます。

